

水害経験と備える知恵（竜王町鵜川）

竜王町

■かさ上げ
鵜川の集落では、昔から水害の経験により、30cm程かさ上げしている家が多い。

■鵜川天満宮
・昭和20年代までは、神社の中に遊水池のような場所があった。

大正時代に決壊した

■竹流し
・昭和60年頃、堤防が決壊しそうだったため、堤防の竹を切り出して竹流しをした。

■注意する場所
・川がカーブしていて、いつも同じ場所で堤防がくずれた。

■神部橋
・神部橋はよく流されていた。そのたびに堤防から松を切り出し、橋をつくり直した。

■堤防
・右岸川の堤防が約10cmに渡って低くなっていたが、平成19年に同じ高さにされた。

・大水の時には隣の集落の薬師まで水が浸いた。

■昭和34年伊勢湾台風時
・「こみしよ」と呼ばれている田んぼが浸水した。

■惣四郎川
・堤防が低く、歩いて渡れるほどの川だった。

■島の遊水池

■こみしよ
・祖父川と惣四郎川にはさまれた場所にある田んぼは、「よく水が混む」ことから、「こみしよ」と呼ばれている。

凡例

●	これまでに破壊、越水、浸水が発生した場所
■	水害に対する知識を確認できる場所
■	過去の水害に対する詳細情報
■	水害に対する知恵の詳細情報



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第422号) 第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。